

# 心ひとつに

弥富市立桜小学校  
学校だより  
No.19  
平成25年12月20日

## トイレのスリッパをそろえる

みなさんは、「竜退治の騎士になる方法」という本を読んだことがありますか。こんなお話なんです。

「小学校6年生の康男は、宿題のプリントを忘れたことを思い出して、幼なじみの優樹と一緒に学校に取りに行きます。そして、誰もいない教室で、突然、竜退治の騎士ジェラルドという騎士と出会います。ジェラルドは、どうして自分が竜退治の騎士になったのかというのを2人に話して聞かせるのです。

ジェラルドは、小学校5年生の時に竜退治の女の人と出会い、竜退治の騎士になる方法を教えてもらいました。その方法とは、トイレのスリッパをそろえることだったのです。

ところで、なぜ、トイレのスリッパをそろえることで竜を退治することができるのでしょうか。

実は、竜というのは、みんなの心の底に潜んでいるとげとげしい心のことだったのです。

みなさんは、トイレのスリッパを使った後、スリッパをそろえて出てきていますか。トイレのスリッパをそろえるというのは、次に使う人のことを考えた思いやりのある行為です。この思いやりのある行為は、人の心を和らげてくれます。

先日、学校のトイレの前を通ると、6年生の女子が2人しゃがんで、乱れたトイレのスリッパをそろえてくれている姿を目にしました。まさに、「竜退治の騎士」に出会ったような気持ちでした。みなさんも相手のことを考えた思いやりのある「竜退治の騎士」になってみませんか。

## 2学期終業式の話より（12/20）

### 校長先生の幸せ

今日でよいよ2学期も終わりです。どんな2学期だったですか？今日は「校長先生の幸せ」というお話をします。

先日、朝礼で「友情は喜びを倍にし、悲しみを半減する」というお話をしました。みなさんは、友達に良いことがあったとき、本当に心から喜んであげられましたか？また、反対に友達に良くないことがあったとき、本当に心から悲しんであげられましたか？

先週の全校朝礼で、生活委員会が、「桜っ子しぐさ」の発表をしてくれました。その中には、「休み時間に一人でいる子に声をかけていました」「いつもトイレのスリッパを片付けていました」「大縄跳びで跳べない子を励まし、教えていました」「悩んでいる友達の相談にのってあげていました」など、どの内容も友達へのおもいやりや優しさある言葉がけや行いでした。

そんな桜小のみなさんの素敵な言動を見たり、聞いたりしたとき、校長先生は本当に嬉しくなります。「桜小学校の校長先生でよかったなあ」と、しみじみ思います。

反対に、友達に嫌がらせをしたり、悪口を言ったり、また、してはいけない行いをしたという話を聞いたとき、校長先生は、とても悲しくなるし、日頃の校長先生をはじめ先生方の教え・思い・願いがみなさんに伝わっていないことを反省させられます。

友達は自分を成長させます。成長するときは、必ず人と人との関わりがあります。

かけっこするとき、一人で走るより、二人で走った方が良いタイムが出ます。

仲間は自分を成長させてくれます。時々喧嘩してしまうことがあっても、すぐに仲直りをして、友達を大事にするみなさんの姿が校長先生は大好きです。2学期そんな姿を何度も見ました。

最後にもう一つ、人と人との関わり大切さをみなさんに教えてくださる桜小の先生方、その関わりの中から成長していくみなさんの姿を心から喜んでくださる先生方、そんな桜小の先生方に校長先生は感謝しています。

友達と一緒にいて成長していくみなさんの楽しそうな笑顔とそれを心から喜ぶ先生方の笑顔に囲まれて、一緒に桜小にいるんだなと思うとき、これが「校長先生の幸せ」です。

さあ、まもなくお正月です。新年になると、1年生から6年生までみんな一緒に一つずつ歳をとります。これは、1つ成長することです。桜小のみんなで、友達を大事にし、みんなで一つずつ大きく成長しましょう。では、新年1月、成長したみなさんと会うのを楽しみにしています。